資料３（検討資料）

協議事項 ①令和９年度の学校給食費〈食材費〉について

●食材費の上昇傾向【実績・推測】

北海道地方の消費者物価指数の推移　　出典・・・総務省統計局

基準年は５年ごとに改定、基準年の値を100とした場合の数値を示したもの

基準年：令和２年		
項目：食料	消費者物価指数	対前年比％
令和２年	100.0	－
令和３年	100.0	0.0%
令和４年	105.4	5.4%
令和５年	114.3	8.4%
令和６年	119.3	4.4%
令和７年	127.8	7.1%

→ → →

基準年：令和７年		
項目：食料	消費者物価指数	対前年比％
令和７年	100.0	－
令和８年		
最新	103.9	（８月時点）
過去１年平均増加率		5.1%
令和９年 推測	**109.0**	**4.9%**

≒ 約5％と予想

●食材費の消費税率改定による影響

来春1％になったら？

１食あたり単価（保護者負担と交付金の計）を現在と同額とした場合

	食材費〈税抜〉	消費税：8%	⇒⇒	食材費〈税抜〉	消費税：1%	
小学校低学年	300.0円	24.0円		320.8円	3.2円	食材費〈税抜〉 **差額　20.8円**
	１食あたり 計　324円					

	食材費〈税抜〉	消費税：8%	⇒⇒	食材費〈税抜〉	消費税：1%	
中学年	308.3円	24.7円		329.7円	3.3円	食材費〈税抜〉 **差額　21.4円**
	１食あたり 計　333円					

	食材費〈税抜〉	消費税：8%	⇒⇒	食材費〈税抜〉	消費税：1%	
高学年	315.7円	25.3円		337.6円	3.4円	食材費〈税抜〉 **差額　21.9円**
	１食あたり 計　341円					

	食材費〈税抜〉	消費税：8%	⇒⇒	食材費〈税抜〉	消費税：1%	
中学校	387.0円	31.0円		413.9円	4.1円	食材費〈税抜〉 **差額　26.9円**
	１食あたり 計　418円					

○食料品等に係る消費税率が来春、8％から1％に引き下げられると、**食材費〈税抜〉として使える額が7%増える**ため、現在のような物価高騰下においても単価を物価上昇率にスライドして値上げする必要が生じない。

○ただし、消費税率が二年後に元に戻ったときには当然にして、税率差額相当額、さらに物価上昇率に見合う値上げをしなければならなくなると予測される。

●食材費の単価改定の当面の必要性

消費税率の引下げ分7％が、直近の食料全体の物価上昇率（年間約5％）を上回っている

➡ 令和９年度は**現行の設定単価で運用することが可能かつ妥当**

ただし令和10年度以降は物価上昇率に見合う改定の検討が必要になる可能性が高い

■ 前回改定時から現在までの状況 ■

令和6年度中に決定した現行単価による運用で、令和7年度は実績にゆとりがあった

そのため令和8年度に向けては単価を据え置き、交付金活用による小学校の無償化施策等を優先することに

令和8年度当初は米価納品価格に予想外の改定があり対応に苦労したが、最近は調達方法の変更等で運用中

★食材費全体から主食と牛乳代を除いた金額で、おかずや汁物などの献立を決めることになる

副食の献立は各食材の組合せや選び方次第で、年度途中においても多少の金額調整はできる

他の自治体の給食で一部、品数や提供量不足が話題になっているが、当市ではそのような意見はほとんど無い